

本住寺便り

（平成二十五年お盆号）



「ひとり三徳をかねて思ふかき仏は

釈迦一仏にかぎりたてまつる。」

（高祖日蓮聖人・南条兵衛七郎殿御書）

数多くいらつしやる仏様の中で、私たちが最も身近に感じ有難く思えるのは、お釈迦さま「釈尊」です。

釈尊こそ全ての仏の総元締めであり、私たちが救わんがため、相手や時に応じて様々に形を変え、種々の法を説かれ、そのまゝとめとして法華経にて、二乗作仏信ずる者みな仏になれると、久遠実成に釈尊こそ大昔から末代まで常に我々の側にてお導き下さるといふ教えを明らかにされました。

日蓮聖人は学問・修行に励んだ結果、法華経を最も勝れた教えとして持ち、釈尊こそ教主・本仏として佐渡の島でも身延の山でも御本尊とされました。弟子檀信徒に対しても常々これを教え、自らも仏法を習い究め行じられたのです。

冒頭のお言葉は、富士上野の南条氏に、釈尊こそ私たちの主であり、師と親であるが、阿弥陀・薬師仏などは主でありえても師と親のつながりはない。ただ一人お釈迦さまだけが支配保護の主、指導啓発の師、慈愛育成の親の三徳をかね備えた、御恩深き仏であるとお示しです。

私たちは今こそ仏子としての自覚も新たに、この世に生まれた使命は何なのかと道を求め、真実の報恩を行じることができるようにならねばなりません。



* 本住寺からのお知らせ *

秋のお彼岸 九月二十三日(月・祝) 午後2時より

お彼岸とは、六波羅蜜【布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧】修行の実践週間のことです。春分・秋分の日をはさんで前後各三日の七日間は、日常生活の中で自らを振り返る修行をし、ご先祖様のご供養をする大切な期間となります。

本住寺では、本堂にて総ての檀家さんの先祖供養の為のお経をおがんでおります。お経の途中でもご自由にお入りいただいでかまいませんので、お墓参りやお寺参りを兼ねて、是非お気軽にお参りくださいませ。

なお、卒塔婆供養を希望される方は、別紙申込書をご覧の上お申込みください。

信行唱題会 『命に合掌くお題目を唱えましょう』

八月十八日(日)・ 九月八日(日) 午後2時

まずは、お題目を唱えることから始めませんか？

本住寺では毎月一回、みなでお題目をお唱えする『信行唱題会』を開催しております。太鼓をたたきながらの唱題行を中心に、お経を唱える時の簡単な作法等を一緒に楽しく実践してまいります。御本尊様を通して自分自身と向き合い、一心にお題目を唱えることでストレスが解消されたり、日々の生活がもつと素敵になるかもかもしれません。

初心者でも簡単に出来ます！ 太鼓はお寺にございますので、是非お気軽にご参加ください。

観音経写経会

毎月第三土曜日 午前10時～午後8時の間いつでも

月に一度、お写経を通して静謐な時間を過ごされてみては、いかがでしょうか。

お釈迦様はこの経を受持・読誦・解説・書写すればよく大願成就すと説かれています。観音様の功德が説かれた有り難いお経を書き写すことで清浄な心を養い、心の平安を得ることに繋がります。また、お経を最後まで書き写すことで忍耐と集中力が養われます。信仰を深めるのももちろん、ストレス発散や癒しの手段として、写経を試みるのはいかがでしょうか。お写経は手本を上からなぞるだけです。誰でも簡単に出来ます。お道具もお寺に揃っておりますので、まずはお気軽に手ぶらで、お楽な時間にお越しくださいませ。

六ツ森ケイ子ごよみごでららぶ♪ お寺で過ごす優しいひととき

いつものお寺とは趣を変え、やさしい音楽と笑顔がほのとしたお寺のライブです。美味しいお昼のおもてなしと素敵な音楽に満たされる、そんな癒しのひとときを過ごしてみませんか？

九月一日(日) 午後12時30分より 3500円(お接待&ライブ)

※事前にチケットのご購入をお願い致します。

妙見山 本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

〇八六(六九八)九七七〇

ホームページ <http://www.honjuzi.com/>

* 仏事に関するご等々でお悩みやお困り事がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。